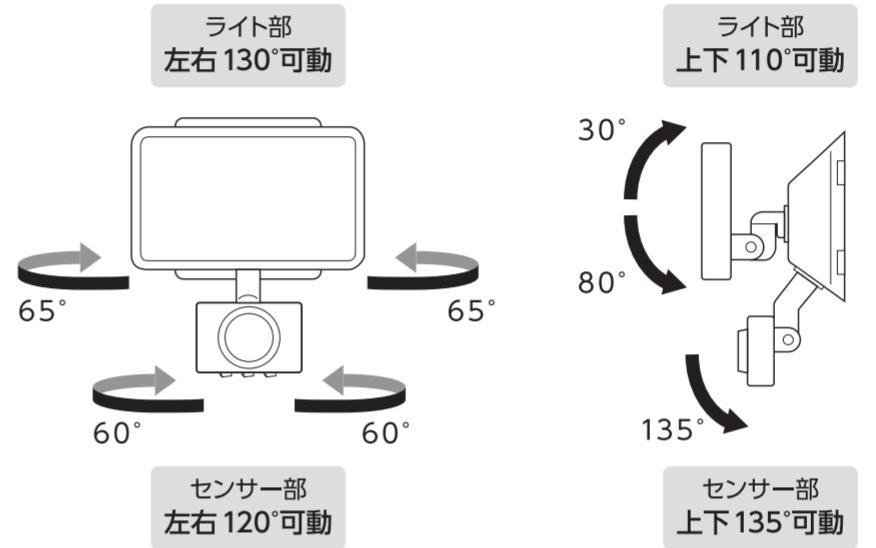
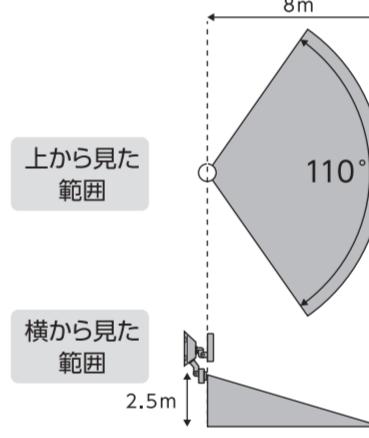


ライトとセンサーの向きの調整

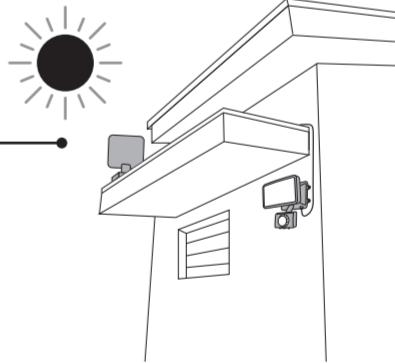


センサーの感知範囲

- センサーは最遠前方約8m／左右約110°の範囲で人を感知しますが、取り付け環境でセンサー感知が変化します。
・取り付け高さは最高2.5mまでです。
・取り付け高さを半分にすると感知範囲は半分になります。
- 夏はセンサーの感度が鈍くなることがあります。
センサーは人を熱として感知するため、体温と気温の差が減少する夏は反応が極端に鈍くなります。センサーの特性によるもので故障ではありません。
- 本体が左右に傾いているとセンサーが誤作動します。
本体は正面から見て地面と水平になるように調整してください。センサーが感知したい方向に向かないおそれがあります。



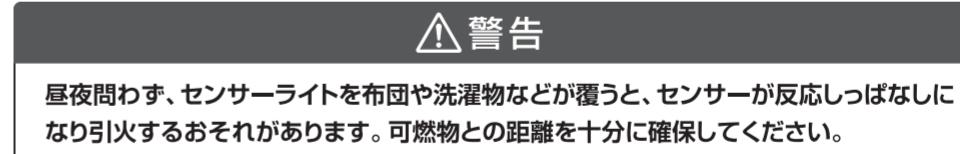
ご使用前にご確認ください



■仮固定して、動作確認してください。

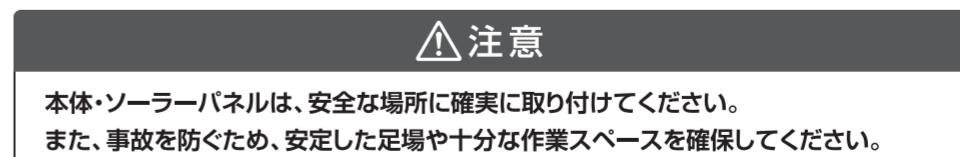
※初期動作の場合、待機時間が約30秒あります。

取り付け前のご注意



- センサーは周囲の明るさと温度変化を感じるので、下記のような場所に取り付けると誤作動や不要な点灯、作動しない場合があります。

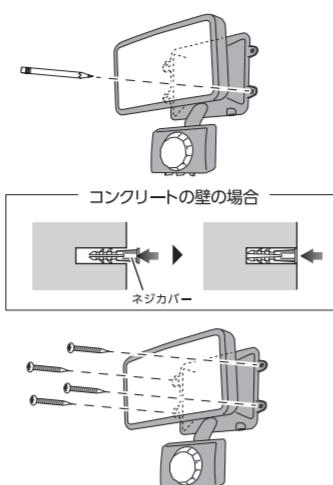
- ・風などでゆれる植物やカーテンなどの近く
- ・大理石の床や壁などの光の反射を強く受ける場所
- ・強い振動を受ける場所
- ・人の往来が激しい場所
- ・取り付け高さが2.5m以上の場所
- ・エアコンなどの送風を受ける場所
- ・ガラスや壁ごしの場所
- ・車の通る道路に面した場所
- ・電波の強い場所



本体の取り付け方

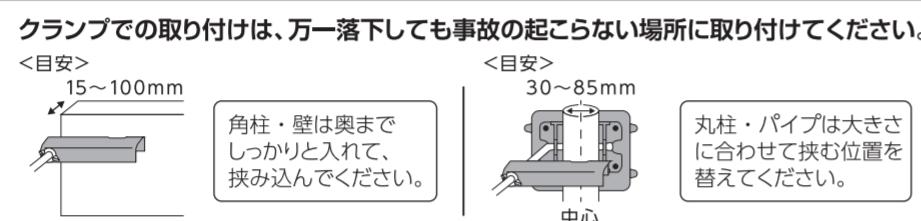
【壁に直接ネジで取り付ける場合】

1. キリ、鉛筆などをブラケットの穴に通し、壁などに印を付けます。
 - ・アルミ板、薄鉄板の場合
印に電気ドリルなどでΦ4mmの穴を開けます。
 - ・木製の場合
印に電気ドリルなどでΦ3.3mmの穴を開けます。
 - ・コンクリートの壁の場合
振動電動ドリルなどでΦ6mmの穴を開けて付属のネジカバーを差し込み、金具などを軽く叩いて壁と面を合わせます。
2. 付属の壁取付用ネジでブラケットを取り付けます。



【クランプで取り付ける場合】

警告

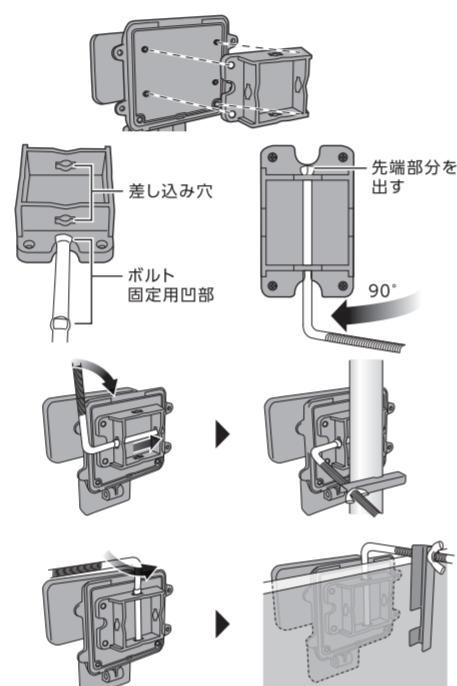


クランプ台の取り付け

ブラケットの背面の穴とクランプ台の穴を合わせてクランプ台用ネジで固定します。

L型ボルトの差し込み方・固定方法

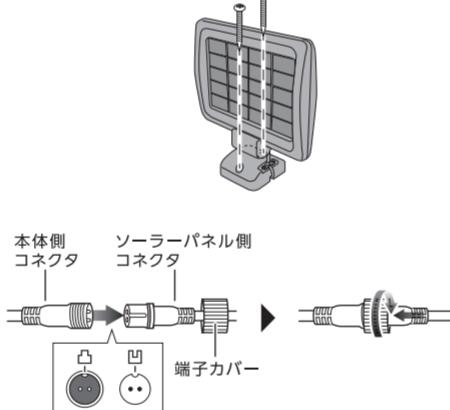
1. L型ボルトをクランプ台の差し込み穴の位置と合わせながら差し込みます。
 2. L型ボルトのボルト固定用凹部の先端が出てきたところでL型ボルトをクランプ台に対して垂直にするL型ボルトが固定されます。
- ※しっかりと固定してから使用してください。



ソーラーパネルの取り付け方

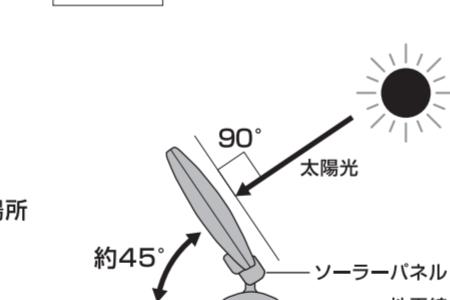
【壁に直接ネジで取り付ける場合】

- ・木製の場合
付属の壁取付用ネジ2本で固定してください。
- ・コンクリートの壁やアルミ板、薄鉄板の場合
本体の取り付け方と同様です。



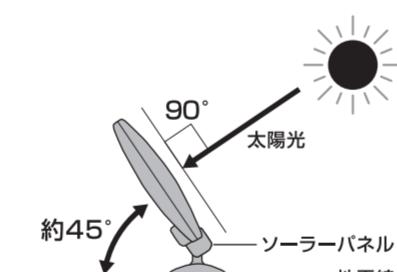
【ソーラーパネルと本体の接続の仕方】

1. ソーラーパネルと本体の専用電源ケーブルコネクタ同士の凸と凹を合わせ接続します。
 2. 本体の専用電源ケーブルに付属している端子カバーを接続部の溝に合わせ、時計回りに締めて固定してください。
- ※ソーラーパネルと本体を接続したときのケーブル長は約3mです。



ソーラーパネルの取り付け場所

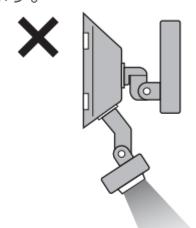
- 直射日光の当たる南向き
 - 地平線の上方向約45°
 - 日照時間の長い場所
 - 木やビルなど、太陽光を妨げるものがない場所
 - 太陽光に対し正面になるようにソーラーパネルの角度を調整
- ※上記が最も充電効率のよい角度です。



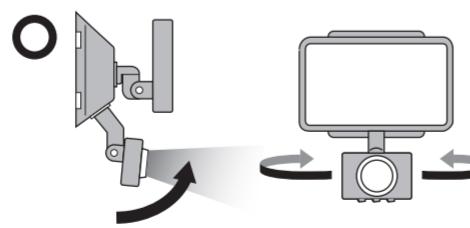
設置後の位置確認

【本体位置の確認】

センサーが下に向く過ぎていると感知範囲が狭くなります。

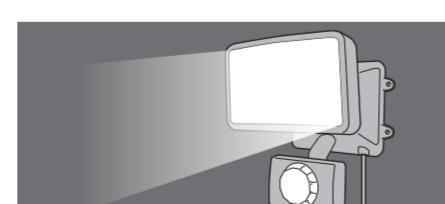


センサーを感じたい方向に向けます。



センサーの感知確認

1. 設置後、夜間の暗くなつたら感知の確認を行います。
 2. センサーの感知範囲に入り、点灯したら、センサー感知範囲から出ます。
- ※感知範囲にいつまでも人が居ると点灯が延長され消灯しないときがあります。



お手入れの仕方

警告

本製品は防水構造ではありません。散水ホースなどでの水洗いはしないでください。
故障や引火感電のおそれがあります。

- 本体は中性洗剤を含ませた布で拭いたあと、乾いたやわらかい布で中性洗剤が残らないよう、よく拭きとります。
※本体をベンジンやシンナー、研磨剤で拭いたり、殺虫剤をかけないでください。
ひび割れ、引火、感電のおそれがあります。
- ソーラーパネルの表面の汚れの拭きとりは、年に1~2回実施してください。中性洗剤、または水を含ませた布で拭いたあと、乾いたやわらかい布で中性洗剤が残らないようによく拭きとります。
- 本体とソーラーパネルの取付ネジやクランプは、定期的にゆるみやガタつきがないか点検してください。

故障かなと思ったら

現象	考えられる原因	処置
点灯しない	バッテリーの充電不足。	ソーラーパネルを太陽光の当たる場所に置いてください。 (ソーラーパネルの汚れを拭き取る) リモコンで点灯をOFFにし、晴天の日に2日間以上充電してください。
	照明モードで消灯になっている。	リモコンのAUTOボタンを押して防犯モードに切り替えてください。
	ソーラーパネルと本体が正常に接続されていない。	ソーラーパネルと本体の専用電源ケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。
	本体とソーラーパネルの電源ケーブルが傷んでいる。(芯線の露出、断線など)	使用を中止してください。ケガをするおそれがあります。
	感知範囲の設定が適切でない。	感知範囲を調節してください。(感知させたい方向に向ける)
	センサーレンズが汚れている。	感知部(センサーレンズ)をやわらかい布で傷が付かないように拭きとってください。
周囲が暗いのに感知範囲に人がいても点灯しない	蒸気や雨などの水滴が付いている。 寒冷地などで顔がマフラーで覆われている。手袋をしている。	本センサーは人の動きによる温度変化分を感知するため、左記のような状況では感知しにくい場合があります。
	リモコンの電池切れ。	リモコンの電池を交換してください。
	感知範囲内に他の照明器具の光が入っている。	他の照明器具の光が入らない場所に設置してください。
	感知範囲内に人がいる。	感知範囲外に移動してください。
消灯しない	照明モードで点灯になっている。	リモコンのAUTOボタンを押して防犯モードに切り替えてください。 ※常時消灯させる場合はリモコンのOFFボタンを押してください。
	リモコンの電池切れ。	リモコンの電池を交換してください。
感知範囲内に誤作動がある。	感知範囲内に誤作動源がある。 ・他の照明器具・エアコンの吹出口 ・犬や猫などが動いている ・風などでよくゆれるもの(看板、旗、植物など) ・車の熱やヘッドライト ・強ノイズ(無線ノイズなど)	誤作動源を取り除くか、本製品を移動してください。
	感知範囲内に人がいるのに点灯する。	本センサーは静止している人は性能上感知できません。
	感知範囲内で人が静止している。	リモコンのAUTOボタンを押して防犯モードに切り替えてください。
感知距離が短い	照明モードで点灯している。	感知部(センサーレンズ)をやわらかい布で傷が付かないように拭きとってください。
	センサー方向がずれている。	センサーを感じさせたい方向に向けてください。
感知しない	センサー感知範囲外になっている。	対象がセンサー感知範囲外にある可能性があります。

製品仕様

■本体

電源	リチウムイオン電池 3.7V 3600mAh(交換不可)	クランプ取付サイズ (目安)	厚み:約15mm~100mm パイプ径:約30mm~85mm
電池寿命	充電300回(1日10回、毎回10秒点灯の場合)	設置場所	屋内・屋外用
光源	3W白色LED×1灯	動作環境温度	5~35°C
全光束	220lm	本体寸法	約(W)132×(D)97×(H)158mm (クランプ除く)
センサー	感知方式 感知範囲	リモコン感知距離	約(W)132×(D)7×(H)86mm センサー感知範囲外
	赤外線センサー 約3~8m 水平110°/上下30°	点灯保持時間	ソーラーパネル、リモコン、クランプ、 クランプ台、クランプ台用ネジ4本、 壁取付用ネジ6本、ネジカバー6本
		調光	無段階調光
		防水性能	IP44(防雨タイプ)

■ソーラーパネル

出力	5V 0.5A	使用電池	リチウムコイン電池CR2025×1個(テスト用付属)
本体寸法	約(W)188×(D)70×(H)205mm	電池寿命	約180日(1日10回使用の場合)
本体質量	約453g	本体寸法	約(W)40×(D)7×(H)86mm

※数値は当社測定値(一部除く)になります。
※商品の仕様および外観などは商品改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

※万一、当社の製造上の原因による品質不良が発生した場合は新しい製品とお取扱い致します。それ以外の責任は負いません。

※本製品は感知範囲内に侵入するもの(人、車など)に対して注意を促しますが、盗難犯罪が発生しても当社は一切の責任を負いません。